

10/19 三戸町総合福祉センター消防訓練

防火意識の向上を図る

三戸町総合福祉センターふくじゅそで消防訓練が行われ、職員および施設利用者が参加しました。今回は、火災の発生場所が事前に知らされず、その場の判断で臨機応変に対応する「ブラインド型」の訓練が行われました。

消防士長の吉田航太さんは「火災をゼロにすることは困難ですが、火災の死傷者を抑えることはできます。日頃から防火を心がけて過ごしましょう」と呼びかけました。参加した施設利用者は「いつもの訓練と違って緊張感があり、良い経験になった」と話し、防火に対する意識を高めました。



消防訓練に参加する職員



環境美化活動を行う参加者

10/20 どんぐりの家が目時駅の環境整備を行う

環境美化活動で駅をきれいに保つ

特定非営利活動法人どんぐりの家（久慈聡理事長）は、目時駅の環境整備活動を行いました。活動には、施設利用者や関係者など13人が参加。花植え作業や駅内の窓拭き、掃き掃除などの清掃作業を行い、駅の環境美化に貢献しました。

参加者は「駅の利用者に気持ちよく利用してもらえたらうれしい。駅をきれいに保つため、これからも活動を続けていきたい」と話しました。

10/22 第31回俵づみ唄全国大会

自慢の歌声を響かせる

三戸町発祥の民謡「南部俵づみ唄」の全国大会が、4年ぶりに三戸町町民体育館で行われました。

子ども大会には6人、本大会には42人が出場し、自慢の歌声を披露しました。子ども大会は齋藤あかりさん、本大会は佐藤博幸さ



本大会で優勝した佐藤博幸さん

んがそれぞれ優勝を飾りました。

- 【子ども大会】 ■優勝 齋藤あかり（岩手県陸前高田市）  
 ■第2位 鎌田琉璃（千葉県市原市）  
 ■第3位 平田承太郎（八戸市）
- 【本大会】 ■優勝 佐藤博幸（弘前市）  
 ■第2位 松倉安那（八戸市）  
 ■第3位 赤坂 勉（南部町）



子ども大会で優勝した齋藤あかりさん

- 特別賞 柳田弘美（むつ市） 日戸楓乃（岩手県北上市） ■熱演賞 江戸忠雄（南部町）  
 渡邊菜奈（五戸町） ■敢闘賞 西塚菜月（神奈川県横浜市） 若木顕子（十和田市）

## 10/23 弘前大学の生徒がガマズミ収穫支援 初めての収穫に「貴重な体験」

弘前大学の学生ボランティアと同大学農学生命科学部の岩井邦久教授が町を訪れ、ガマズミの収穫作業を手伝いました。この取り組みはことしで4年目となり、収穫したガマズミはさまざまな加工品に利用されます。

収穫作業を行った鈴木杏さん（3年）は「初めてガマズミの収穫に携わりました。高いところにある実の収穫は大変でしたが、貴重な経験になりました」と感想を話しました。



ガマズミ収穫作業をする学生



仮装してゴミを拾う参加者

## 10/29 コスプレ de プロギング 2023in さんのへ 仮装しながら、楽しくゴミ拾い

町商工会青年部と女性部が主催するイベント「コスプレ de プロギング」が行われました。このイベントはことしで2年目の開催となります。約40人の参加者は、さまざまな仮装をしながら関根ふれあい公園から中心街のごみを拾ったり、ハロウィーンにちなんで道行く人にお菓子を配ったりしてイベントを楽しみました。

子どもの部でコスプレ大賞を受賞した足沢凜央奈さんには、審査員である馬場浩治副町長から景品を贈呈されました。足沢さんは「ゴミ拾いもコスプレも楽しかった、また来年もやりたいです」と笑顔で話しました。

## 10/30 JUMP・リトル JUMP 委員が城山公園を清掃 清掃活動にやりがいを感じる

小中一貫三戸学園三戸小中学校（島守詩子校長）のJUMP・リトル JUMP 委員と生徒会役員が国史跡三戸城跡城山公園で環境整備活動を行いました。小学生は園内イベント広場でゴミや石などを拾い、中学生は糖部神社から網御門までの遊歩道で落ち葉の清掃を行いました。生徒会長の越後政哉さん（9年）は「公園を清掃すると心もきれいになったようで、大変やりがいを感じます」と話しました。



園内の落ち葉を清掃する生徒



松尾町長（左から2番目）と  
齋藤支社長（右から2番目）

## 10/30 明治安田生命が町に寄附 豊かな地域づくりを応援

明治安田生命保険相互会社八戸支社（齋藤浩二郎支社長）は、豊かな地域づくりの応援のため行っている「私の地元応援募金（従業員募金と同社寄附金）」31万円を町に寄附しました。齋藤支社長と従業員が役場を訪れ、目録の贈呈を受けた松尾和彦町長は「有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。齋藤支社長は「これからも町のイベントに参加して、健康増進や活性化に貢献していきたい」と話しました。



## 11/1～3 三戸菊花展

三戸菊クラブ（稲村國男会長）主催の第51回三戸菊花展がアップルドームで行われました。会場には、町内の菊愛好家や小中一貫三戸学園斗川小学校の児童たちが育てた自慢の菊約180点が展示され、会場を彩りました。



美しい菊に見とれる来場者



作品を鑑賞する来場者

## 11/3～5 三戸町総合文化祭

町民体育館で三戸町文化協会（坂本忍会長）主催の第54回三戸町総合文化祭が開催されました。会場では、絵画や写真、俳句、生け花など398点の展示作品のほか、5日には舞踊や詩吟などの芸能発表会が行われました。

## 11/6 米田リヨさん、100歳おめでとう

### 好き嫌いなく食べることが元気の秘けつ

米田リヨさんが、めでたく100歳を迎えました。特別養護老人ホーム鶴亀荘で顕彰が行われ、リヨさんは松尾和彦町長から顕彰状と祝金、記念品を受け取りました。



顕彰状を掲げる米田さん（中央）

リヨさんは、大正12年11月5日に三戸町泉山で6人きょうだいの次女として生まれ、家の畑仕事を手伝いながら子ども6人を育てました。おだやかな性格で自然が好きなりヨさんは、四季折々の景色を見ることを日課に過ごしています。リヨさんの家族は、リヨさんの元気の秘けつについて「好き嫌いなく食べることが元気の秘けつです。リンゴが好きで、よく食べています」と話しました。

## 11/8 三戸ロータリークラブが三戸学園に記念植樹 植えた苗木に「大きくなあれ！」

三戸ロータリークラブ（大野誠会長）は、小中一貫三戸学園三戸小中学校敷地内にオオヤマザクラの苗木5本を植樹しました。植樹には、会員6人と三戸小1年生48人が参加。子どもたちは「大きくなあれ！」と声をかけながら、スコップで木の根元に土を被せました。参加した畑沢結絆さんは「植えた木が大きくなって、きれいな花を咲かせてほしいです」と笑顔で話しました。



桜の苗木を植樹する児童

## 11/8 三戸町自衛官募集相談員委嘱状交付式

### 自衛官志願者への手助けを行う

三戸町自衛官募集相談員委嘱状交付式が役場で行われ、相談員9期目の桜庭彰さんは馬場浩治副町長から委嘱状を授与されました。自衛官青森地方協力本部長の渡邊雄一さんは「自衛官の志願者が減る中、相談員として自衛官募集の仲介をしていただきありがたい。これからも引き続き頑張ってください」と話しました。また、今回欠席した船場節子さん（10期目）、工藤豊子さん（8期目）も、自衛官募集相談員に任命されました。



委嘱状を掲げる桜庭さん（中央）

## 11/8 法人会手指消毒

### 感染症予防に役立ててほしい

八戸法人会三戸支部（石亀和郎支部長）が、町内の小中学校に手指消毒剤 27 本を寄贈しました。消毒剤の寄贈はことしで 12 年目となります。小中一貫三戸学園斗川小学校で寄贈を行った宇藤毅平副支部長は「感染症の予防に役立てて、健康に過ごしてください」と話しました。児童代表の佐藤健介さん（6 年）は「風邪を引かないように、全校のみんなで大切に使います」と感謝の言葉を述べました。



消毒剤を渡す宇藤副支部長と受け取る児童



生徒に講話する松原さん

## 11/11 土曜塾立志科で、松原さんが講演

### ストレスに強い体になろう！

（一社）さんのヘスポーツクラブ Enjoy の松原栄子さんが、三戸土曜塾の立志科で「ストレスに強い体になろう」という題目で生徒たちに講話を行いました。松原さんは、意識的に呼吸をする練習や脳の体操など、ストレスを和らげる手法を交えながら、目標に向かって頑張った自分の経験について子どもたちに伝えました。松原さんは「簡単に自分の目標を達成できるとは限りません。頑張りすぎて体調を崩さないように、時には家族や仲間の力を借りながら、目標に向かって進みましょう」とメッセージを送りました。

## 11/11 「ジャブ」が親子ふれあい遊びを開催

### 子どもとの限りある時間を大切に

病後児保育ジャブは、ママフィット認定インストラクターの武部貴子さんを招き「親子ふれあい遊び With ママフィット」を開催しました。体操には、10 組の親子が参加。ボールを使って子どもとふれ合う「親子ふれあい遊び」や、産後の骨盤のゆがみを整える体操「ママフィット」を行いました。

武部さんは「ゲームなどをして体を動かさない子どもが増えています。子どもとの限りある時間を大切に、たくさん運動をして健康的に過ごしましょう」と話しました。



体操をする参加者と武部さん



ティラノサウルスが全力疾走!

## 11/12 城山公園で「どすこい! ダイナ走」を開催

### 城山公園に恐竜が大集合!

3-REX ARMY（梅舘莉沙実行委員長）が主催するイベント「どすこい! ダイナ走」が城山公園で行われ、県内外から約 80 人が参加しました。イベントでは、恐竜の着ぐるみを着て成獣（オス・メス）の部、幼獣の部ごとに競走する「恐竜レース」や、町の特色の一つとして挙げられる相撲を取り入れた「恐竜すもう」が行われ、参加者はさまざまな競技に熱中しました。梅舘さんは「多くの方がイベントに参加してくれて、大変うれしいです。また来年も開催したい」と話しました。子どもの部で優勝した安藤柊馬さんは「五戸町の恐竜レースでも優勝したのですが、三戸町でも勝ててうれしかったです」と笑顔で話しました。